

おおだて木育インタープリター 実践講座



令和7年6月28日開催



最初に講座の導入を行いました。本講座の目的を共有し、また、危険な動物や植物に対する注意事項などを確認しました。

【本講座の目的】

- ・大館の自然や文化を五感で感じ、大館の自然や文化を観る目を養う。
- ・プログラムの「進め方」と「伝え方」を学ぶ。
- ・体験の「気づき」を整理してわかちあい、自らの活動につなげるきっかけを得る。
- ・新たな人間関係を築き、自らの活動の「可能性」を拡げる。





達子森ガイドハイクに出発！
森の宝もの集め体験を通して、自然の話や草木にまつわる知識(インタープリテーション)や、子どもと一緒にできる草花あそびなどのショートアクティビティ、触ってはいけない植物を実際に見て確認したりなど、木育活動に役立つ技術をたくさん教わりながら山頂を目指します。

【ガイドハイクのねらい】

- ・自然や文化を見る目を養う
- ・自然の楽しみ方を身につける
- ・身近な自然に興味を持つ
- ・自然や文化への興味を深める





**達子森から戻ってきた後は、ガイドハイクでどんな「気づき」
が得られたか、その「気づき」を今後の木育活動等にどう活か
していくかについて考えました。**

**自然に対する見方や視点を変えること、視野を広げて全体
を見ることが大切という意見、子どもも大人も自然にふれる
機会をもっと増やしていくべきという意見など、受講者それぞ
れの思いや考えを発表し、分かち合いました。**



受講者のみなさん、ありがとうございました！

